

NIIGATAベンチャーアワード

トラッドフィット最優秀賞



8組が事業を発表した「NIIGATAベンチャーアワード」=21日、新潟市中央区

AI活用し音声サービス

革新的な事業に取り組み県内企業や団体、個人を表彰する「NIIGATAベンチャーアワード2022」のプレゼンテーション審査会が21日、新潟市中央区で開かれた。書類審査を通過した8組が事業を発表。最優秀賞には新潟市中央区に拠点を持ち、人工知能(AI)を活用した音声データサービスを展開するITベンチャー「トラッドフィット」(東京)が選ばれた。

成する新潟ニュービジネス協議会が主催。本県のベンチャー企業育成などを目的に毎年開催している。9回目の今年には名称を「新潟ニュービジネス大賞」から変更し、公開プレゼンテーションを初めて実施。会員ら約60人が参加した。15組の応募者の中から1次審査を通過した8組が登壇し、5分間の持ち時間で、事業内容やこれからの見通しなどを発表。「事業化に向けて資金調達の予定はあるか」「競合サービスは何

か」といった審査員の質問に答えていた。

最高賞の最優秀賞に選ばれたトラッドフィットは、宿泊施設に特化した音声端末向けサービスを開発。客室に設置するAIスピーカ―が宿泊客からフロントへの問い合わせや、ルームサービスなどの要望を引き受ける。多言語化でインバウンド需要にも対応し、プリンスホテル系列など大手ホテルで導入されている。

同社の戸田良樹社長(39)は「十日町市出身」は「慢性的な人手不足に悩む業界の業務負担軽減を目指している。海外へも拡大させたい」と話した。

ほかには学生向けにアントレプレナーシップ(起業家精神)教育を行い、多くの起業家を輩出している新潟大の伊藤龍史研究室が、ビジネス支援の功労者に贈られる「アシスト賞」、参加者の投票で選ばれる「オーディエンス賞」をダブル受賞した。

入賞者の中から新潟代表として、日本ニュービジネス協議会連合会主催のニッポン新事業創出大賞に推薦する。

にいがた経済